

「う・ら・ら」利用者数の推移

1 「う・ら・ら」の利用者数

東浦町運行バス「う・ら・ら」の利用者数の推移は、表1及び図1のとおりである。

(1) 令和4年度と平成30年度の利用者数の比較

表1及び図1から、令和4年度（4月から2月まで）の「う・ら・ら」の利用者数の計は225,135人、コロナ禍以前の平成30年度（4月から2月まで）の利用者数の計は237,807人である。4月から2月までの期間における利用者数の計を、**令和4年度と平成30年度で比較すると12,672人の減（5%減）**となっていることが分かる。

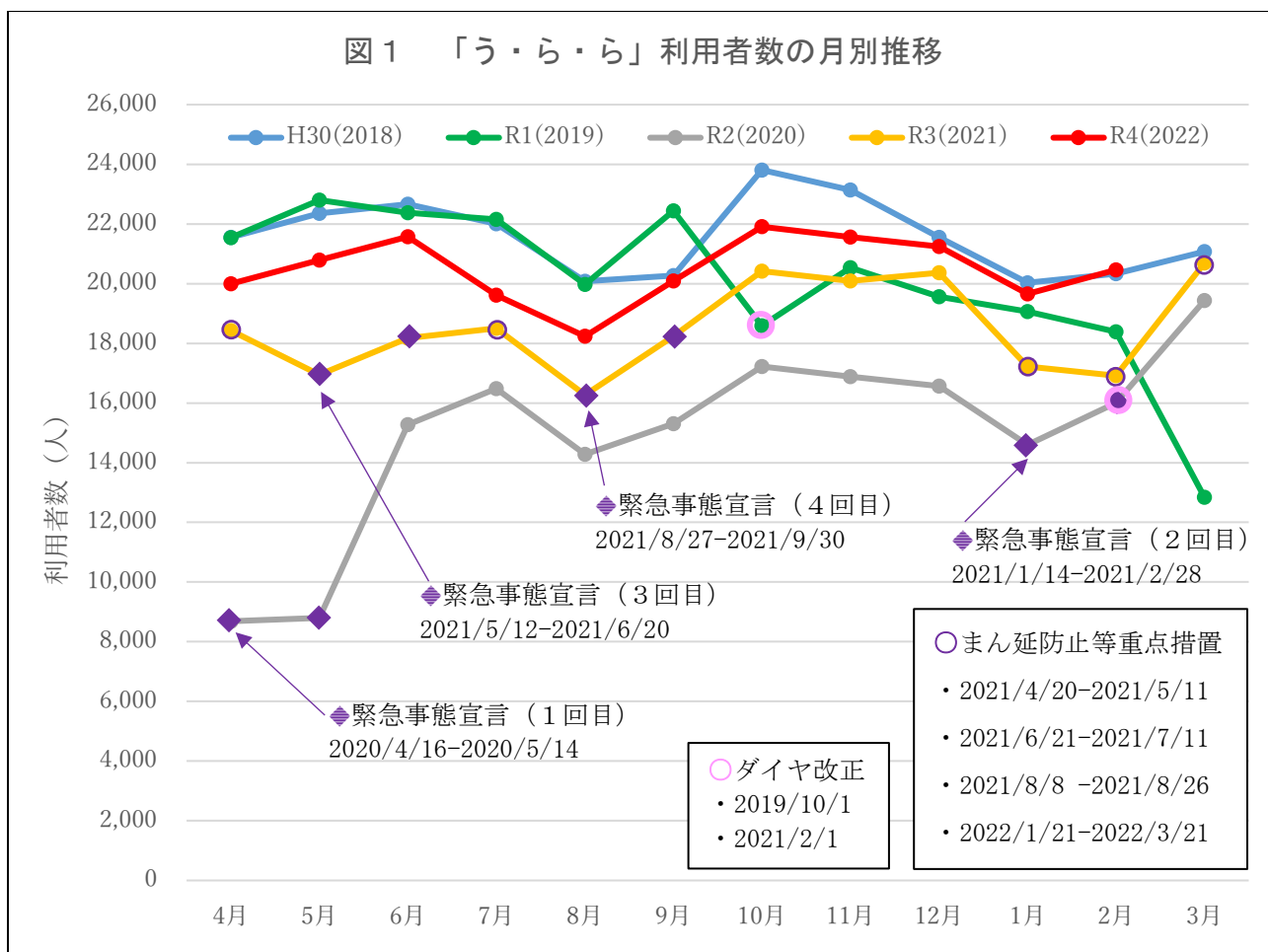
なお、令和元年10月のダイヤ改正で運行経路が大きく変わっているため、全ての路線で利用者数は比較できないが、平成30年度から令和4年度まで存在する刈谷線及び長寿線について、4月から2月までの期間における利用者数の年度比較を行うと、**刈谷線は7,572人の増（40%増）、長寿線は5,189人の増（13%増）**となっている。このことから、「旧平池台線（平池台から緒川駅方面への移動）」や「旧東ヶ丘線（東ヶ丘団地から緒川駅方面への移動）」の移動ニーズを担う**環状線等の路線で利用者数が減少**していることが分かる。

以上のことから、この利用者数の減少は、「リモートワークや通販の活用等の**新しい生活様式への移行・推進によって外出需要が減少**したこと」や、「旧東ヶ丘線の**午前9時台の移動が環状線（右回り）において実現できていないこと**」が原因ではないかと考えられる。

表1 「う・ら・ら」の利用者数の月別推移（4月から2月まで）（人）

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
刈谷線	2,495	2,487	2,350	2,449	2,542	2,232	2,492	2,438	2,519	2,284	2,358	26,646
長寿線	3,953	3,965	3,967	3,807	3,966	3,926	4,380	4,285	4,215	3,866	4,153	44,483
環状線(左回り)	6,180	6,324	6,764	6,242	5,428	6,238	6,751	6,545	6,501	6,117	6,229	69,319
環状線(右回り)	5,205	5,571	5,867	4,916	4,008	5,313	5,852	5,692	5,554	5,038	5,387	58,403
東浦高校線 (於大公園南経由)	1,748	2,015	2,021	1,724	1,849	1,783	1,940	1,954	1,825	1,796	1,864	20,519
東浦高校線 (文化センター経由)	893	874	1,071	916	871	974	958	1,057	1,029	928	922	10,493
長寿医療研究センター直行便	63	61	64	58	55	80	82	89	76	67	57	752
計(A)	20,537	21,297	22,104	20,112	18,719	20,546	22,455	22,060	21,719	20,096	20,970	230,615
乗継券利用者数(B) ※1	543	507	531	498	484	452	548	497	469	444	507	5,480
利用者数(A)-(B)	19,994	20,790	21,573	19,614	18,235	20,094	21,907	21,563	21,250	19,652	20,463	225,135
1日あたりの乗車人数	666	671	719	633	588	670	707	719	708	655	731	
平成30年度の利用者数	21,550	22,361	22,666	22,010	20,078	20,275	23,809	23,139	21,556	20,030	20,333	237,807
平成30年度との増減数	△ 1,556	△ 1,571	△ 1,093	△ 2,396	△ 1,843	△ 181	△ 1,902	△ 1,576	△ 306	△ 378	130	△ 12,672
平成30年度との増減比	93%	93%	95%	89%	91%	99%	92%	93%	99%	98%	101%	95%
令和3年度の利用者数	18,429	16,943	18,172	18,507	16,270	18,244	20,414	20,093	20,370	17,224	16,915	201,581
令和3年度との増減数	1,565	3,847	3,401	1,107	1,965	1,850	1,493	1,470	880	2,428	3,548	23,554
令和3年度との増減比	108%	123%	119%	106%	112%	110%	107%	107%	104%	114%	121%	112%

※1 乗継券の利用者のみであり、定期券で乗継ぎした利用者は含みません。



(2) 令和4年度と令和3年度の利用者数の比較

表1及び図1から、令和4年度と同様にコロナ禍以降である令和3年度(4月から2月まで)の利用者数の計は201,581人である。4月から2月までの期間における利用者数の計を、令和4年度と令和3年度と比較すると23,554人の増(12%増)となっていることが分かる。

なお、4月から2月までの期間における利用者数の年度比較を行うと、全ての路線で令和4年度の利用者数が上回っている。各路線の利用者数の変化は以下のとおりである。

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| ① 長寿線は6,264人の増(16%増) | ⑥ 東浦高校線(文化センター経由)は1,933人の増(23%増) |
| ② 刈谷線は3,790人の増(17%増) | ⑦ 長寿医療研究センター直行便は262人の増(53%増) |
| ③ 環状線(左回り)は5,119人の増(8%増) | |
| ④ 環状線(右回り)は2,718人の増(5%増) | |
| ⑤ 東浦高校線(於大公園南経由)は3,982人の増(24%増) | |

この利用者数の増加は、「令和4年度は、感染者数も減少傾向にあり、緊急事態宣言等の発出がなかったこと」や、「外出に伴う規制がなくなったことで、『利便性向上を目的に行った令和3年2月のダイヤ改正』の効果がより出始めたこと」が原因ではないかと考えられる。